

マレーシアにおける透析医療の技術革新と臨床工学技士制度の導入

- 背景: マレーシア(以下、マ国)では糖尿病患者の増加により末期腎不全に至る患者が急増しているが、透析技術は十分進化しているとは言えず、透析医療の質の向上は急務である。
- NCGM、つくば国際大、日機装がNational Kidney Foundation (NKF), HUMS (Hospital Universiti Malaysia Sabah), Malaysian Society of Nephrology, Ministry of Health (MOH)に対して8月までにweb会議、11月に透析医3名+ME1名で現地透析施設で訪問指導を行う(実際に実施可能かどうか8月までに判断)。CE制度について理解を深めていただく協議をweb形式で12月に行い、可能なら1月に現地にてHUMSにて講義を行う(状況によりオンラインに変更)。
- 成果: ①マ国におけるハイレベルな透析医療の普及と腎不全患者の予後改善 ②臨床工学技士制度に対する理解の深まりと制度確立に向けた活動の進展 ③わが国の透析関連機器/製薬メーカー等のさらなる進出・発展に貢献

つくば国際大学(茨城県つくば市)
(株)日機装(東京都渋谷区)

* KL = クアラルンプール

＜スケジュール予定＞

8月 web ミーティングとデモ講義

- ・腎臓学会有力者、MOHとの協議
- ・HUMS や他の提携施設と連携協議
- ・CE 制度に興味ある施設に対しオンラインによるデモ講義を継続

11月 現地派遣(6名) *状況に応じて変更可

- ・CE 制度設立に向けた現地視察
- ・透析技術指導

12月 CE 制度設立に向けた協議

- ・NKF, MOH 高官, HUMS スタッフ、学会幹部らと協議

1月 CE の概念を取り込んだ看護教育
について現地もしくはwebで協議

連携
↑
CE制度について理解を深めるためのミーティング、講義

NCGM 腎臓内科・人工透析室(東京都新宿区)

Ministry of Health (KL)
National Kidney Foundation (Petaling Jaya)
Malaysian Society of Nephrology (KL)
Ipoh Specialist Center (Ipoh)
Tzu-Chi Dialysis Centre (Penang)
Prima Dialysis Centre (Kluang)
その他の透析施設
現地透析関連企業

情報提供
↑
プロジェクトのサポート

JICA マレーシア事務所 (KL)
駐マレーシア日本大使館 (KL)

Webミーティング

Webレクチャー

協力、情報交換

HUMS (Hospital Universiti Malaysia Sabah)